

「我が事・丸ごと」の地域づくり

厚生労働省が進めていく「地域共生社会実現に向けた取り組み」について紹介します。

地域福祉の現状と課題

■少子高齢化と人口減少

2025年には、75歳以上が全人

■多様化・一般化そして複雑化するが、一方で65歳以上は全人口の約40%となると推計されています。

認知症患者、発達障害児者、がん患者、難病患者など支援の必要な方の増加に伴い、個人のニーズは多様化・一般化し誰にとつても「我が事」の問題になります。

このように単身世帯、高齢者単身世帯、ひとり親世帯ともに、今後とも増加が予想され、単身世帯は、2035年で約4割に達する見込まれています。

- ①包括的な相談から見立て、支援調整の組み立て及び資源開発
- ②高齢、障害、児童等への総合的な支援の提供
- ③効果的・効率的なサービス提供のための生産性向上
- ④総合的な人材の育成・確保

■システム構築に向けた4つの改革があります。

介護・医療・予防といった専門的サービスの前提として、住まいと生活支援・福祉といった分野が重要であり、自助・共助・互助・公助をつなぎ合わせる役割が不可欠です。とりわけ都市部では、意識的に互助の強化を行わなければ、強い互助を期待できない状況にあります。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となつても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包摂的に確保される体制の構築が必要となつています。

■ 地域包括ケアシステムの構築

■ 我が事・丸ごとの地域づくり

■ 地域共生社会実現本部の設置 地域共生社会の実現に向けた検

① 「他人事」になりがちな地域づ

ぐりを地域住民が「我か事」として主体的に取り組む仕組みや市町村による地域づくりの取り

② 「丸ごと」の総合相談支援の体組みの支援

③対象者ごとに整備された「縦割

「」の企画書や「」を一
ごと」へと転換していくための
ナードスや専門人材の養成課程

の改革等について、厚生労働省内の縦割

について、厚生労働省内の縦割りを排して部局横断的に幅広く検討を行う「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部を28年7月に設置し検討を進めています。

当面の改革工程

平成29年には、市町村による包括支援体制の制度化や共生型サービスの創設などを盛り込んだ介護保険法・社会福祉法等の改正。平成30年に介護・障害福祉の報酬改定及び共生型サービスの評価を行い、実現に向けた改革工程を進めています。



河南ブロック

文化遺産と交流事業

(藤井寺市)

藤井寺市は、古代文化発祥の地であり、世界文化遺産に推薦されることが決定した「百舌鳥・古市古墳群」で盛り上がっています。

藤井寺市身体障害者福祉協議会は河南ブロックの事業を中心に活動し、交流を深めており、ブロック内では顔なじみの関係が出来ています。

他には友好都市奈良県山添村の身体障害者福祉協議会との交流事業で河南ブロックの事業を中心に行なっています。

毎年10月は様々、イベントが催されるなか、どうしてもみんなの都合でバス旅行も実行しなければなりませんでした。私達は内部障がい者が多いため車椅子の利用者もおられるので、毎年リフトバスを利用していきます。

肢体の方も、高齢者もリフトを利用します。段差の無い所を選別して、内容の有る所へと行きます。ツーリストを悩ませています。

近い所への旅行も楽なのでしょうが、此の時とばかりに、少々無理でも遠出をしています。みんなも理解してくれています。同じ様な仲間と気心も判つてゐるし、助け合い乍ら、食し、語り、笑いの



(写真)や、単独での事業としては日帰り研修旅行等を実施して会員相互の親睦交流を図っています。

現在、会員数の減少が課題となつております。会員獲得にむけてPR活動を行っています。

阪南ブロック

恒例のバス研修旅行と新年会

(和泉市)

毎年10月は様々なイベントが催

されるなか、どうしてもみんなの

都合でバス旅行も実行しなければ

なりませんでした。私達は内部障

がい者が多いため車椅子の利用

者もおられるので、毎年リフトバ

スを利用していきます。



北摂ブロック

暮らしこと住みよい街を求める
41項目を市長に要望

(箕面市)

一日です。今回は丹波方面に行き、町営の食事処、手造り和菓子の実習と、時間を過しました。バス会社の方も眺めておれずに参加されました。良いお土産を造り、家路へと着きました。其のあと、帰りの途中で、辛口の方が喜ぶビール

の途中で、辛口の方が喜ぶビール

練習と、時間を過しました。バス会社によりビールを嗜む方々には、絶好の見学でした。係りの方に案内して貰った後、試飲して下さい

とのお言葉で、何度もカウンタへ

行く人もいました。帰りのバス内

でビンゴゲームに興じ、賞を貰い乍ら、次のバス旅行の予定などを話す、再会を約束していました。

箕面市身体障害者福祉会は、昨年11月に障害者の社会参加、暮らしと生活をまもる制度と環境を求めて、箕面市長に対し41項目の要望書を提出しました。

要望は視覚部会、聴覚部会、車いす部会(準備会)からそれぞれの部会要望と共通した全体の要望書となっています。

市長に対する要望書は毎年提出しており、回答を受けた後、市の障害福祉課を始め関係する部局も参加した中で協議・懇談会を行うことになっています。

要望は多岐にわたっており、障害者差別解消法の取組みや鉄道延伸に伴う新駅のバリアフリー化、障害者の移動交通に関する問題、障害者駐車場の整備、日常生活用具、医療機関等々の拡充を求めるなど、身近な問題から生活と社会活動、安心・安全に関わる内容となっています。また、現在箕面市

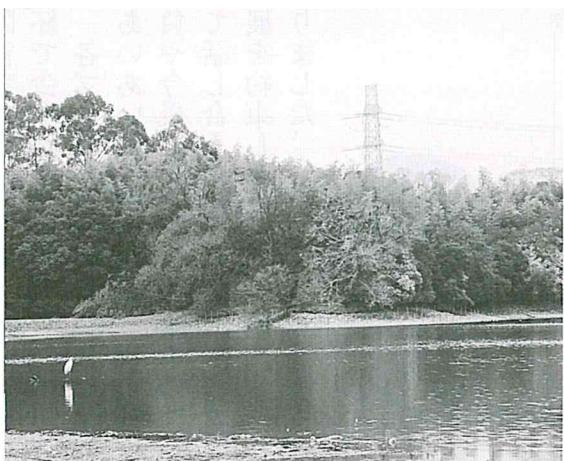
康と声かけ活動、電話でも良いから、連絡しあいをしようねと、今年も健康を願いながら祝いました。

では手話言語・コミュニケーション条例（仮称）策定に向けての協議がすすめられており、当福祉会や関係団体など障害当事者も参画するもとで運営されています。

船橋川沿いから長尾駅に向かって

京阪ブロック

（枚方市）



車の利用をしなくなりました。
先日、枚方市長尾荒坂に有る施設の車椅子の男性の外出支援をしました。JR長尾駅（1.3km約20分）まで田園地帯と住宅地の道筋に、船橋川（枚方市東部を貫流し淀川左岸に注ぐ）があります。

側道を車椅子を押して歩いて行きます。

ちいさな川辺には、鴨の親子や、小さい小鳥たちが泳ぎ、そして数匹の親亀と子亀が流れに沿つて、ゆうゆうとたわむれています。上空からは、シラサギが飛んでき、川面の小魚を突ついているそんな風景を、見ていると心が癒されました。川の中は、空き缶や、ペットボトルの投棄もすくなく、きれいな水が流れています。

近くの池には、かわせみ（枚方市）や、かるがも、こさぎなどいます。地元の住人や、ボランティア活動で河川を綺麗にして環境を良くする運動されている方々の成果だと、思いました。

私達は、高齢化で歩く事が少なくなり、高齢者の方がデイサービスに行く姿が日常多くなりました。車で自宅から現場までの移動する生活です。

枚方市立総合体育館で障害者卓球の参加や、総合福祉会館（ラボール枚方）に行くのにも、バスや電

枚方市駅からバスで20分位です。
皆さまも遊びに来てください。

東ブロック

八尾歴史物語～古墳編～
（八尾市）

八尾市には、国・府・市指定の文化財が96件、登録有形文化財の建造物が20棟あります（平成29年4月現在）。今回は指定された文化財のうち、古墳についてご紹介します。

古墳時代は大きく前期・中期・後期に区分されますが、前期に造られたものに萱振1号墳（府指定）があります。1辺が27メートルの方墳で、家形や鞍（矢を入れて携行する武具）形など多くの形象埴輪が出土しており、府立八尾北高校内に復元整備されています。

古墳時代中期では、全長160メートルで中河内最大の前方後円墳である心合寺山古墳（国指定）があります。現在は、造られた当時の

墳丘や葺石、埴輪列などが復元され、古墳の上まで見学できるようになっています。しかし自然と

墳について学ぶことができます。

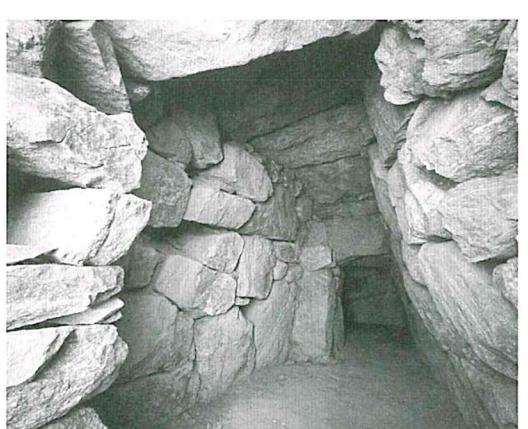
古墳時代後期では、高安山山ろ

くに広く分布する高安古墳群があ

ります。現在は、造られた当時の墳丘や葺石、埴輪列などが復元され、古墳の上まで見学できるようになっています。枚方菊人形は数年前に終わりました。しかし自然と

墳について学ぶことができます。

古墳時代後期では、高安山山ろ



二室塚古墳

新
年
交
礼
会

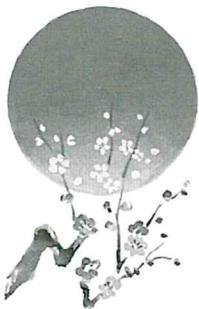
1月13日（土）、谷町福祉センターにおいて、平成30年府身協新年交礼会が61人の参加を得て開催されました。

中井会長の挨拶、大阪府の西口

障がい福祉室長の祝辞の後、大阪障害者自立支援協会木村常務の乾

杯で会が始まりました。各ブロック別に席に着き、和気

あいあいの雰囲気の中、新年の抱負や今後の活動への取組みについて話合うなど、今年の更なる発展を約束し合つて会はお開きとなりました。



平成30年度事業計画・
予算承認

平成30年3月22日、第2回評議員会を谷町福祉センターにおいて開催しました。平成30年度事業計画（案）、収入支出予算（案）等が審議され、いずれも承認されました。（平成30年度予算は次号でお知らせします。）

1日1日の人正論より

ひ
ろ
い
読
み

「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくら」、「心訓」という言葉でよく知られている福澤諭吉に

く打つ言葉がある。世の中で一番楽しく立派なことは生涯を貫く仕事をもつことです。

世の中で一番みじめなことは人間として教養のないことです。世の中で一番さびしいことはする仕事のないことです。

世の中で一番みにくいことは他人の生活をうらやむことです。世の中で一番尊いことは人のために奉仕し、決して恩にさせないことです。

世の中で一番美しいことはすべての物に愛情をもつことです。世の中で一番かなしいことは嘘をつくことです。なんどくりかえして読んででも、どの一つをとりだして読んでみても、そのたびに私たちの心を強く打つ言葉ばかりである。悲しみや苦しみ、不平や不満になるとき、ひとつ、この「心訓」を思い出してみよう。

府身協からのお知らせ

・第63回日本身体障害者福祉大会

ぐんま大会

日時 平成30年6月13日（水）

日時 平成30年6月14日（木）

場所 高崎アリーナ

担当 森田 072-678-5356

連絡先 カークラブ事務局

・広報委員会

日時 平成30年6月4日（月）

場所 府身協事務室

※第41号の原稿締切りは、

5月25日（金）必着です。

・JRジパング俱楽部

・入会資格

身体障害者手帳の交付を受けている方で男性60歳以上、女性55歳以上の方。

・特典

JR線を「片道、往復、連続」で201km以上ご利用される場合、特急券・グリーン券・指定券などが割引されます。（新幹線「のぞみ」「みずほ」など一部割引とならないきっぷがあります）

・会費

年会費1,350円

その他詳しいことは、府身協事務局まで、お問い合わせください。

☎ 06-6771-3131

主な活動内容

- ・ドライブ会（日帰り、一泊二日）
- ・安全運転講習会
- ・交通安全啓発活動等



大阪府在住で、障害のある方の運転免許保持者、本人が持つていなくても家族が運転免許保持している者、また当クラブに協同してくれる方を募集しています。